

# いちごの ハダニ類は 灌注処理で防除!



## モベント<sup>®</sup> フロアブル

アザミウマ類



ハダニ類



アブラムシ類



コナジラミ類



100ml 250ml

### 灌注の使用適期と上手な使い方

7月		8月		9月		
下	上	中	下	上	中	下
		株冷期間		定植		
モベント <sup>®</sup> フロアブルの使用適期						
育苗ハウス内で			または 移動中のコンテナで			

#### ポイント

**1** 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理前後の灌水は控える。

**2** 灌注処理は、弱めの水圧でやさしく、ゆっくりと。



**3** 苗の上から丁寧に灌注する。



## モベント<sup>®</sup>フロアブルの適用害虫と使用方法（いちごのみ抜粋）

2021年7月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*	
						本剤	スピロテトラマト
いちご	ハダニ類 アザミウマ類 コナジラミ類 アブラムシ類	500倍	50mℓ/株 25～50mℓ/株	育苗期後半 ～定植当日	灌注	1回	3回 (灌注は1回)
	アブラムシ類 ハダニ類	250倍	25mℓ/株				
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000倍	100～300ℓ /10a	前日*	散布	3回	

\*印は収穫物への残留回避のため、その日までに使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

●その他の適用作物、適用害虫等は製品ラベルをご確認ください。

上手な使い方	使用上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理前後の灌水は控えて下さい。</li> <li>■ 灌注処理の水圧は弱めにし、時間をかけて苗の上から丁寧に灌注して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ミツバチについては、灌注処理した苗は定植後に放飼可能、散布は散布翌日に放飼可能です。*</li> <li>■ 本剤はマルハナバチに影響があるので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業（人工授粉、植物ホルモンなど）を行って下さい。</li> <li>■ チリカブリダニおよびミヤコカブリダニを使用する栽培場面では、灌注、散布いずれも、チリカブリダニは処理後35日以上、ミヤコカブリダニは処理後30～35日程度の間隔をおいて放飼して下さい。*</li> <li>■ スワルスキーカブリダニを使用する栽培場面では灌注、散布いずれも処理後、20～30日程度間隔をおいて放飼して下さい。*</li> <li>■ 軟弱な苗への灌注処理は葉害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。</li> <li>■ ランナー切り離しまでの灌注処理は効果、葉害ともに未確認のため、使用をさけて下さい。</li> </ul> <p><small>*影響期間はあくまでも目安であり、気象条件、栽培条件により変化します。あくまでも目安としてご利用下さい。</small></p>

## 混用事例

### 灌注：殺菌剤

フロンサイドSC	ベンレート水和剤
----------	----------

### 散布：殺虫剤

アタプロン乳剤	アニキ乳剤	アフーム乳剤	ウララDF
エコピタ液剤	オレート液剤	カウンター乳剤	カスケード乳剤
カネマイトフロアブル	グレーシア乳剤	コテツフロアブル	コルト顆粒水和剤
コロマイト水和剤	コロマイト乳剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤
サンマイトフロアブル	スターマイトフロアブル	スピノエース顆粒水和剤	ダニサラバフロアブル
ダニトロンフロアブル	ダニメツフロアブル	チェス顆粒水和剤	ディアナSC
トルネードフロアブル	粘着くん液剤	ノーモルト乳剤	ハチハチフロアブル
バリアード顆粒水和剤	パロックフロアブル	ピラニカEW	フェニックス顆粒水和剤
プレオフロアブル	プレバノンフロアブル5	マイトコーネフロアブル	マッチ乳剤
ムシラップ	モスピラン水溶剤		

### 散布：殺菌剤

アフエツフロアブル	アミスター20フロアブル	ガッテン乳剤	カリグリーン
カンタスドライフロアブル	ゲッター水和剤	サンクリスタル乳剤	サンヨール
サンリット水和剤	シグナムWDG	ジャストミート顆粒水和剤	ストロビーフロアブル
スミレックス水和剤	セイビアフロアブル20	ダイヤモンド水和剤	トリフミン水和剤
パンチョTF顆粒水和剤	ピクシオDF	ファンタジスタ顆粒水和剤	ファンベル顆粒水和剤
フルピカフロアブル	プロバティフロアブル	ベルコート水和剤	モレスタン水和剤
ラリー水和剤	ロブラール水和剤	ロブラール500アクア	

上記薬剤（殺虫剤、殺菌剤）は、モベント<sup>®</sup>フロアブルとの混用によって、葉害が認められなかった事例です。なお、気象条件、栽培条件、生育ステージ、品種などにより異なった結果が得られることも予想されます。上記事例は、使用の安全性を保証するものではなく、あくまでも参考事例としてお取り扱い下さい。

## 注意事項

- 使用前に良く振ってから使用して下さい。
- 本剤を軟弱な苗に灌注または株元灌注すると葉害を生じるおそれがあるので、注意して下さい。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、周辺の桑葉にかからないようにして下さい。
- 本剤はマルハナバチに影響があるので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業（人工授粉、植物ホルモンなど）を行って下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 最高分げつ期から出穂開花期の稲に本剤がかかると不稔などの葉害を生じる場合があるので、かからないように注意して下さい。
- 誤飲などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00  
土日祝日および会社休日を除く